



令和7年度

学校要覧



岡山大学附属特別支援学校（知的障害教育）

〒703-8282 岡山市中区平井三丁目914番地

TEL : (086) 277-7431(代) FAX : (086) 277-7673

Mail : tokushi@okayama-u.ac.jp URL : <http://futoku.okayama-u.ac.jp/>

目 次

1	本校の使命	1
2	沿 革	1
3	教育のめあて	2
	(1) 学校教育目標	
	(2) 目指す学校の姿	
	(3) 目指す児童生徒の姿	
4	学校経営方針	3
5	主な年間行事	4
6	教育課程	5
	(1) 小学部	5
	(2) 中学部	6
	(3) 高等部	7
	(4) 発達支援室	8
7	児童生徒の状況	9
	(1) 児童生徒数（学級・男女別）	
	(2) 通学区域	
8	卒業生の進路状況	9
	(1) 高等部卒業生の進路状況	
	(2) 高等部卒業生の就職先	
	(3) 就職先・現場実習の様子	
9	教育実習	10
10	教育相談	10
11	入学案内	10
12	研究のあゆみ	11
13	研究発表会の案内	11
14	校務分掌組織	12
15	教職員	12
16	教室配置図	13
17	学校案内図	14

校 歌

金重博之 作詞
久坂恭一 補作
徳田公裕 作曲
姜川欣三郎 補作

青ぎりあおおお あのように

枝もすくすく いせいよく

学校の庭に 茂ってる

ぼくも伸びよう がんばろう

雨にも風にも 負けないで

小鳥はこやで 遊んでる

声もやさしく むつまじく

学校の庭で 育ってる

わたしらも学ぼう このように

仲よく楽しく 手をとって

1 本校の使命

- (1) 知的障害特別支援学校として、知的な障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した教育を行う。
- (2) 岡山大学と一体となり、特別支援教育の教育課題に関する実践研究の成果を発信するとともに、各種の研修を行うことで、地域における特別支援教育のセンター的役割を果たす。
- (3) 教育実践に関わる学びの場として、教育実習を通して、志を持った教員の養成に資する。

2 沿革

- 昭和25年 4月 附属小学校に学習不振児・中間児の特別学級を新設
- 27年 4月 附属小学校に精神薄弱特殊学級（1学級）を新設
- 30年 4月 附属小学校の特殊学級を1学級増設
- 34年 4月 附属中学校に特殊学級（1学級）を新設
- 40年 4月 附属小・中学校特殊学級を改組し、附属養護学校（小学部3学級・中学部3学級）を岡山市門田の附属小・中学校敷地内に新設
- 43年 3月 現在地（岡山市平井三丁目914番地）に新校舎完成
- 43年 4月 新設校舎（高等部棟を除く）に移転完了・高等部（1学級）を新設
- 44年 4月 高等部1学級増設
- 45年 3月 高等部棟完成
- 45年 6月 小学部を対象として治療教室を特設
- 47年 3月 プール完成
- 50年 4月 創立10周年
- 51年 3月 運動場拡張・整備
- 54年 3月 築庭・中庭の整備及び諸施設・設備完了
- 56年 4月 治療教育部を設置
- 59年 3月 運動場東側（国旗掲揚台付近）整備
- 60年 4月 創立20周年
- 平成 5年 9月 体育館完成
- 6年 4月 創立30周年
- 6年12月 校舎・プールの全面改修工事及び日常生活訓練棟の新築工事完成
- 7年 9月 創立30周年記念誌発刊並びに創立30周年記念モニュメント建立
- 8年11月 全館ガス暖房工事完成
- 9年 3月 コンピューターシステム設置
- 12年 3月 給食室改修工事完成
- 14年 2月 門扉、フェンス改修工事
- 15年 1月 日常生活訓練棟の愛称を「あおぎりハウス」と決定
- 15年 3月 治療教育部を発達支援室に改称、合同教官室設置、非常通報装置設置
- 16年 3月 身体障害者用トイレ設置
- 16年 4月 創立40周年 国立大学の法人化に伴い、岡山大学は国立大学法人岡山大学となる。
- 16年 9月 小学部トイレ全面改修
- 19年 3月 耐震化・バリアフリー化工事、高圧受変電設備の増設、普通教室にエアコン設置
- 19年 4月 岡山大学教育学部附属養護学校から、岡山大学教育学部附属特別支援学校に校名改称
- 22年 3月 地上デジタル放送関連設備の導入（テレビ、アンテナ）
- 25年 3月 高等部トイレ全面改修
- 25年 3月 木工室をのびのびルーム（感覚統合訓練室）に改装
- 26年 4月 創立50周年
- 26年 9月 給食棟の耐震化工事
- 27年11月 創立50周年記念誌発刊並びに校旗を新調
- 令和 2年 5月 校舎全面改修工事完成
- 3年 3月 あおぎりハウス、体育館、給食棟のトイレ、照明、空調の改修完了
- 6年 4月 創立60周年
- 7年 4月 岡山大学教育学部附属特別支援学校から、岡山大学附属特別支援学校に校名改称

3 教育のめあて

(1) 学校教育目標

小学部・中学部・高等部の課程を通して、調和のある一貫した指導を行い、児童生徒の全人的な発達を促し、主体的に社会生活に参加できる人間の育成を目指す。

(2) 目指す学校の姿

- ・子どもたちが自立し、社会に参加できる人間の育成を目指す学校。
- ・特別支援教育に理解ある教師を志す学生を育てる学校。
- ・地域における特別支援教育のセンター的な役割を果たす学校。



(3) 目指す児童生徒の姿

小学部

「みんなといっしょに のびのびと」

基本的な生活習慣を身に付け、興味関心を広げ、意欲的に取り組む児童。



遊びの指導（小学部）

中学部

「仲間とともに 生き生きと」

他者と関わりながら、生活経験を拡大し、主体的に社会参加しようとする生徒。



販売学習（中学部）

高等部

「心豊かに たくましく」

目的達成に向け、課題を解決しながら、自分のもてる力を最大限に発揮し、取り組む生徒。



校内現場実習（高等部）

4 学校経営方針

(1) 家庭や地域等と連携し、児童生徒の自立と社会参加の実現に必要な力を育成するため、日々の教育実践を改善しながら、より質の高い教育を目指す。

- ・本校教職員が自律的、主体的に同僚と学び合うとともに、1つのチームとなって対応することで、教育効果を高め、喜びを共有する。

- ・学習指導要領の改訂の主旨を踏まえ、指導と評価の一体化に基づき、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに取り組む。

- ・GIGA スクール構想の実現に向け、一人一台端末を活用して学習効果を高めると共に、どのような環境下でも学びを止めず、児童生徒の新たな学びの場を広げる。



全校授業研究会（中学部 音楽）



自立活動検討会（中学部）



一人一台端末の活用

(2) 附属学校に求められる教員研修の「地域の拠点」としての役割を果たす取組を推進する。

- ・岡山県や岡山市教育委員会、岡山県特別支援学校長会等と連携し、本校において体験型教員研修を積極的に受け入れ、本校教員との学び合いの場とする。



体験型教員研修（授業参加）

- ・県内及び他大学附属の特別支援学校等において本校教員が体験型教員研修を行い、そこでの学びを日々の教育実践や研究活動に生かす。

- ・本校教職員及び学部教員が話題提供を行う「授業づくり研修会」を毎月1回程度開催し、相互に学び合える場として、地域の教育関係者の専門性向上に関わるセンター的機能を果たす。



授業づくり研修会

5 主な年間行事

月	全 校	小学部	中学部	高等部	PTA(P)/同窓会(同)
4	前期始業式 入学式 学級・学部懇談 個人懇談	1年生を迎える会	新入生歓迎会	新入生歓迎会	新旧役員会(P) 幹事会(同) 廃品回収(P)
5	学習参観日 PTA総会 運動会			就職相談会(3年)	PTA総会(P)
6	新入生個人懇談 学校公開	水泳指導	水泳指導	前期現場実習	廃品回収(P) 総会・パーティー(同) 附属学校園PTA連絡協議会(P)
7	学習参観日 学級・学部懇談 夏休み前集会 卒業生アフターケア	附小との交流	販売学習		PTA新聞発行(P)
8					
9	夏休み後集会 学校公開 個人懇談 前期終業式			修学旅行(3年)	廃品回収(P) あすにはばたく集い(P) 全附P連総会(P)
10	後期始業式 入学選考 学習参観日	修学旅行(小3組)※ 附小との交流	修学旅行(3年)	後期現場実習	
11		秋の遠足			中附P連総会(P) 附属学校園PTA連絡協議会(P) 廃品回収(P)
12	学習発表会 冬休み前集会				
1	冬休み後集会 進路を考える会・学級懇談 PTA評議員会 研究発表会		作業週間		評議員会(P) 廃品回収(P)
2	個人懇談 学習参観日		販売学習	移行支援会議(3年)	ボウリング大会(同) 新役員会(P)
3	卒業証書授与式 修了式	6年生を送る会	3年生を送る会	3年生を送る会	PTA新聞発行(P) 廃品回収(P)

※小学部は1学級6名(1学年3名)の複式学級(3組は5年生3名、6年生3名の編成)となっており、修学旅行は隔年で実施されている。

6 教育課程

(1) 小学部

①週時程表

* 小学部は1学年3名の複式学級で編成されている *

	月			火			水			木			金			
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
8:45	登校															
9:10	着替え・朝の支度(日常生活の指導)															
9:35	ひまわりタイム			朝の会	朝の運動		朝の会	朝の運動		朝の会	朝の運動		朝の会	朝の運動		
9:55	朝の会			朝の運動	朝の会		朝の運動	朝の会		朝の運動	朝の会		朝の運動	朝の会		
10:10	ことば・かず (国語・算数)			体育	ことば・かず (国語・算数)				音楽	図画工作	ことば・かず (国語・算数)					
10:50	休憩															
11:05	図画工作	せいかつ (生活単元学習/生活学習/遊びの指導) *遊びの指導は1・2組のみ														
11:45	休憩															
12:05	給食・歯磨き等 (日常生活の指導)															
13:05	着替え・帰りの支度 帰りの会 (日常生活の指導)	休憩・移動	*日常生活の指導	休憩・移動					着替え・帰りの支度・帰りの会 (日常生活の指導)					休憩・移動		
13:30	13:30下校	音楽	13:30下校	体育		あそび			13:30下校					音楽	図画工作	
14:10	移動・休憩		移動・休憩												移動・休憩	
14:30	*日常生活の指導		掃除・着替え・帰りの支度・帰りの会 (日常生活の指導)												掃除・着替え・帰りの支度・帰りの会 (日常生活の指導)	
15:00	下校		下校												下校	

*日常生活の指導には、「朝の会」、「着替え・帰りの支度・帰りの会(小3組は掃除)」を含む

②指導の形態

各教科等

生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	特別の教科 道徳	特別活動	自立活動
----	----	----	----	------	----	-------------	------	------

指導の形態

指導の形態		授業名	主に扱う教科等
各教科等を含ませた指導	日常生活の指導	着替え・朝の支度・朝の会、給食・歯磨き等 着替え・帰りの支度・帰りの会 掃除・着替え・帰りの支度・帰りの会	生活、国語、算数、道徳、特別活動、自立活動
	遊びの指導	あそび せいかつ(小1組のみ)	生活、国語、算数、音楽、図画工作、道徳、自立活動
	生活単元学習	せいかつ	生活、国語、算数、音楽、図画工作、道徳、特別活動、自立活動
教科別等の指導		ことば・かず	国語、算数
		音楽	音楽
		図画工作	図画工作
		せいかつ(生活学習)	生活、体育(保健)
		体育	体育
		朝の運動	体育
		ひまわりタイム	特別活動
教育活動全体を通じて			道徳、自立活動

※ひまわりタイム：月曜日1校時に小学部全員で行う学部集会。週目標の確認や、教員による読み聞かせ、児童の学習活動の発表などを行っている。

※せいかつ(生活学習)：児童の実態や生活年齢を踏まえ、将来の自立した生活を実現するために必要な各教科の内容を、その時期のニーズに合わせて指導する本校独自の教科別の指導の一形態である。



ひまわりタイム



生活単元学習

(2) 中学部

①週時程表

	月	火	水	木	金
	登 校				
8:45	更衣等（日常生活の指導）				
9:00	朝の会（日常生活の指導）				
9:20	朝の運動（保健体育）				
9:45	休 憩				
9:55	国 語 ・ 数 学				チャレンジタイム （総合的な学習の時間）
10:45	休 憩				
11:00	学級活動/委員会活動 /部集会 （特別活動）	音楽 美術	生活単元学習／生活学習		
12:10	給食準備等（日常生活の指導）				
12:20	給 食				
12:50	歯磨き等（日常生活の指導）				
13:00	休憩・移動				休憩・移動
13:20	作業学習 〔工芸/園芸〕	美術 音楽	作業学習 〔工芸/園芸〕	更衣等 帰りの会 （日常生活の指導） 13:30 下 校	保健体育
14:30	移動・休憩				移動・休憩
14:40	清掃・更衣等 帰りの会 （日常生活の指導）				清掃・更衣等 帰りの会 （日常生活の指導）
15:15	下 校				下 校

②指導の形態

各教科等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	特別の教科 道徳	学習の時間 総合的な	特別活動	自立活動
------	----	----	----	----	----	----	------	-------	-------------	---------------	------	------

指導の形態		授業名	主に扱う教科等
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	更衣等、朝の会、給食準備等、歯磨き等、更衣等・帰りの会 清掃・更衣等、帰りの会	国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育、道徳、特別活動、自立活動
	生活単元学習	生活単元学習	国語、社会、数学、理科、美術、職業・家庭、道徳、自立活動
	作業学習	作業学習〔工芸/園芸〕	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、職業・家庭、道徳、特別活動、自立活動
教科別等の指導		国語・数学	国語、数学
		音楽	音楽
		美術	美術
		保健体育	保健体育
		朝の運動	
		生活学習	社会、理科、職業・家庭
		チャレンジタイム	総合的な学習の時間
学級活動/委員会活動/部集会			特別活動
教育活動全体を通じて			道徳、自立活動

※生活学習：生徒の実態や生活年齢、時期などに応じて、将来の自立した生活に必要な各教科の内容を指導する本校独自の教科別の指導の一形態である。中学部では、社会科、理科、職業・家庭科などを取り扱う。



生活単元学習

※作業学習：週に2回、工芸班と園芸班に分かれて製品作りに取り組み、保護者や地域の方に向けての販売会を実施している。



生活学習

※委員会活動：音楽委員会と保健体育委員会に分かれて、活動を行う。

(3) 高等部

①週時程表

	月	火	水	木	金
8:30	登 校				
8:45	更衣等（日常生活の指導）				
8:50	朝礼 （特別活動）	朝の運動（保健体育）			
9:10	朝の会（日常生活の指導）				
9:30	移動等				
9:35	作業学習 〔陶芸/農耕〕	生活学習 B	音楽 美術	作業学習 〔陶芸/農耕〕	作業学習 〔陶芸/農耕〕
10:45		休 憩			
11:00		委員会/探究	生活学習 B		
12:10	給食準備等（日常生活の指導）				
12:30	給食				
13:00	休憩			移動等	休憩
13:15				更衣等・帰りの会 （日常生活の指導）	
13:20	生活単元学習 ／ 生活学習 A	生活単元学習 ／ 生活学習 A	保健体育	13:30 下校	生活単元学習 ／ 生活学習 A
14:30	清掃（日常生活の指導）			移動等	清掃（日常生活の指導）
14:40	移動等				移動等
14:45	更衣等・帰りの会（日常生活の指導）				更衣等・帰りの会 （日常生活の指導）
15:20	下 校				下 校

②指導の形態

各教科等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業	家庭	特別の教科 道徳	総合的な 探究の時間	特別活動	自立活動
指導の形態	指導の形態				授業名等				主に扱う教科等				
	各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導			更衣等、朝の会、給食準備等、清掃、更衣等・帰りの会					国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育、道徳、特別活動、自立活動			
		生活単元学習			生活単元学習					国語、社会、数学、理科、音楽、美術、職業、家庭、保健体育、道徳、特別活動、自立活動			
		作業学習			作業学習〔 陶芸 / 農耕 〕					国語、社会、数学、理科、美術、職業、家庭、自立活動			
	教科別等の指導				音楽		音楽						
					美術		美術						
					生活学習A、生活学習B					国語、社会、数学、理科、職業、家庭			
					探究					総合的な探究の時間			
					保健体育					保健体育			
					朝の運動								
					朝礼					特別活動			
					委員会								
	教育活動全体を通じて									道徳、自立活動			

※生活学習A、B：週時程上の「生活学習A」は学年で、「生活学習B」は高等部全体を課題別に分けた縦割りグループで行う。

※探究 / 委員会：「探究」では、体験的な活動や交流的な活動をととして学んだことを深める学習を行う。



作業学習（陶芸）

音楽



(4) 発達支援室

①発達支援室の構成

4名の教員で構成されている（各学部併任3名、教務主任1名）

②発達支援室の役割

ア 自立活動検討会の実施

所属学部の児童生徒の指導目標や具体的な指導内容等の整理、実践の振り返りと共有など、学部や学級の担当教師と必要に応じてグループ編成を変更しながら検討会を実施し、自立活動の指導の設計や評価・改善を行う。



イ 自立活動の個別取り出しによる時間における指導

○コミュニケーション、人間関係の形成、心理的な安定など、個別の指導の場の方が効果的であると思われる生徒を抽出して指導を行う（令和7年度の対象児童生徒は19名）。

※個別取り出しによる時間における指導は、一人につき、週2回の指導（40分/回）を原則とする。



○指導にあたっては、個々の児童生徒の障害の状態や発達の程度などの的確な把握に基づき、指導目標、及び指導内容を明確にし、自立活動の指導シート（個別の指導計画）を作成する。

○所属学部や学級、保護者、関係諸機関との連携を図って指導を行う。



ウ 教育活動全体を通じて行う自立活動の指導

自立活動の指導シート（個別の指導計画）をもとに、生活面や学習面などの児童生徒への指導を行ったり、他の教員の指導状況等から情報の共有や指導内容の相談・検討をしたりしながら、自立活動の指導の充実に向けた取組の支援や推進を行う。

エ 校内支援、及び地域支援の充実に図る特別支援コーディネーターとしての役割

③自立活動検討会と指導の流れ

月	自立活動検討会	グループ	月	自立活動検討会	グループ
4	前期設計 (指導目標・指導内容)	学部教員全員	10	10～2月 指導と評価・改善	
5			11		
6	4～7月 指導と評価・改善		12		
7			1		
8	前期評価 (指導内容の見直し等)	小グループ	2	後期評価 (指導内容の見直し等)	小グループ
9	後期設計 (指導目標・指導内容)	学部教員全員	3	次年度設計 (中心的な課題の検討等)	学部教員全員

※設計時期となっている9月、3月についても目標の達成に向けて指導と評価・改善を行っている。

※8月、2月の小グループは、学部教頭、担任（2名）、発達支援室1名の計4名で行っている。

7 児童生徒の状況

(1) 児童生徒数（学級・男女別）

学部	小学部				中学部				高等部				総計
学級	1組	2組	3組	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
男	5	3	6	14	3	5	5	13	6	5	7	18	45
女	1	3	0	4	3	1	1	5	2	3	0	5	14
計	6	6	6	18	6	6	6	18	8	8	7	23	59

(2) 通学区域

	小学部			中学部			高等部			総計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
岡山市	14	4	18	12	5	17	18	2	20	55
倉敷市				1		1		2	2	3
瀬戸内市								1	1	1
計	14	4	18	13	5	18	18	5	23	59

8 卒業生の進路状況

(1) 高等部卒業生の進路状況

卒業年次	生徒数			進路先							
	男	女	計	就職	家業	施設	進学	就労B	自立訓練・就労移行	生活介護	その他
昭和45年～平成30年	285	167	452	238	20	186	1				6
令和元～5年	21	16	37	10	0		0	12	9	4	1
令和6年	1	6	7	2	0		0	3	1	1	0
合計	307	189	496	250	20	186	1	15	10	5	7

昭和45年度が第1期

※就職は、就労継続支援A型事業所を含む。

※令和元年より施設を就労B、自立訓練・就労移行、生活介護に分別する。

(2) 高等部卒業生の就職先

就職先	人数
小売店品出し	3
木材加工	1
保育園補助	1
軽作業	1
運送業仕分け	1
小売り店惣菜加工	1
事業所清掃等	2
医療機器搬送	2
合計	12

(令和元年～6年)

(3) 就職先・現場実習の様子



9 教 育 実 習

種 類	期 間
① 特別支援教育コース2年次特別支援教育実習	〈17名〉 1週間
② 特別支援教育コース3年次特別支援教育実習	〈16名〉 3週間
③ 副免許特別支援教育実習（Ⅰ期・Ⅱ期）	〈40名〉 2週間
④ 養護教諭養成課程2年次実習	〈24名〉 4日間
⑤ 養護教諭養成課程3年次実習	〈4名〉 1週間
⑥ 公衆衛生看護学実習	〈15名〉 2日間

10 教 育 相 談

次のような相談に応じています。お気軽にお問合せください。

- (1) 発達相談、就学・進路相談
- (2) 教育実践に関する相談（指導の内容と方法、アセスメントの方法、発達障害児への支援など）
事前に、以下までご連絡ください。

Tel : (086) 277-7431

Fax : (086) 277-7673

Mail : tokushi@okayama-u.ac.jp

11 入 学 案 内

(1) 応募資格

- ① 知的な障害があり、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由など、その他の障害が著しくない者
- ② 一人または保護者の付き添いで、自宅から安全に通学できる者
- ③ 小学部にあつては、令和8年度に小学部に就学見込みの者
- ④ 中学部にあつては、令和8年3月に小学校もしくは特別支援学校小学部を卒業見込みの者
- ⑤ 高等部にあつては、中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業した者、または令和8年3月に中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業見込みの者

(2) 募集人員

小学部、中学部、高等部それぞれ若干名

(3) 選考期間

- ① 募集公示 9月1日 予定
- ② 願書受付 10月初旬～中旬
- ③ 入学選考 10月末または11月初旬

(4) 出願手続き

事前に来校し、本校の実状を十分に理解した上で、入学願書等所定の書類を受け取ってください。
本校の実状理解のために、次のような機会があります。あらかじめ電話連絡の上、ご来校ください。

- ① 就学相談 随時
- ② 授業参観 随時
- ③ 学校公開 第1回 6月5日(木) 第2回 9月4日(木)

(5) 選考方法

諸検査及び面接を行います。

詳しくは、募集要項（9月1日公示予定）をご覧ください。

1 2 研究のあゆみ

昭和40年～42年	学習指導法	・ 学習指導法とその効果A ・ 指導過程の細分とその効果B ・ 転移を高める指導法C	
昭和43年～45年	治療教育と適応	1 (基礎能力)	(研究紀要 第1号)
昭和46年～47年	治療教育と適応	2-1 (基礎能力・自己概念・学力)	(研究紀要 第2号)
昭和48年～49年	治療教育と適応	2-2 (基礎能力・自己概念・学力) (基礎能力に関する指導内容表)	(研究紀要 第3号)
昭和50年～52年	治療教育と適応	2-3 (基礎能力・自己概念・学力) (行動観察目録)	(研究紀要 第4号)
昭和53年～54年	治療教育と適応	3-1 (基礎学力)	(研究紀要 第5号)
昭和55年～56年	治療教育と適応	3-2 (基礎学力) (国語科指導内容表)	(研究紀要 第6号)
昭和57年～61年	生産技能育成のための発達に即した系統的指導課題及び指導法の設計		(研究紀要 第7号) (研究紀要 第8号)
昭和62年～平成3年	自立的生活を支える課題解決力と行動体力		(研究紀要 第9号) (研究紀要 第10号)
平成4年～8年	生活者として子どもをとらえなおす		(研究紀要 第11号) (研究紀要 第12号)
平成9年～11年	個が生きる授業づくり		(研究紀要 第13号)
平成12年～13年	個に応じた指導を行うための個別の指導計画の作成と活用-I期		(研究紀要 第14号)
平成14年～15年	個別の指導計画の作成と活用-II期		(研究紀要 第15号)
平成16年～17年	一人一人の多様な教育的ニーズに応じた指導・支援の充実をめざして		(研究紀要 第16号)
平成18年～19年	社会性の育成を目指した授業づくり		(研究紀要 第17号)
平成20年～21年	一人一人のより豊かな社会参加を目指して		(研究紀要 第18号)
平成22年～23年	将来の社会生活を主体的に生きるために		(研究紀要 第19号)
平成24年～25年	確かな学びにつながる授業づくり～キャリア教育の充実を目指して～		(研究紀要 第20号)
平成26年～28年	知的障害のある児童生徒に対して教育活動全体で行う自立活動の指導		(研究紀要 第21号)
平成29年～令和元年	知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくり		(研究紀要 第22号)
令和2年～4年	知的障害教育における「指導と評価の一体化」に基づいた個が生きる授業づくり		(研究紀要 第23号)
令和5年～	知的障害特別支援学校におけるチームで取り組む自立活動の指導 ～個別取り出しによる時間における指導と各教科等における指導の充実～		

1 3 研究発表会の案内

(1) 開催日

令和8年1月24日(土) (予定)

(2) 会場

岡山大学附属特別支援学校

(3) 内容

全体会・公開授業
ポスター発表・分科会
講演

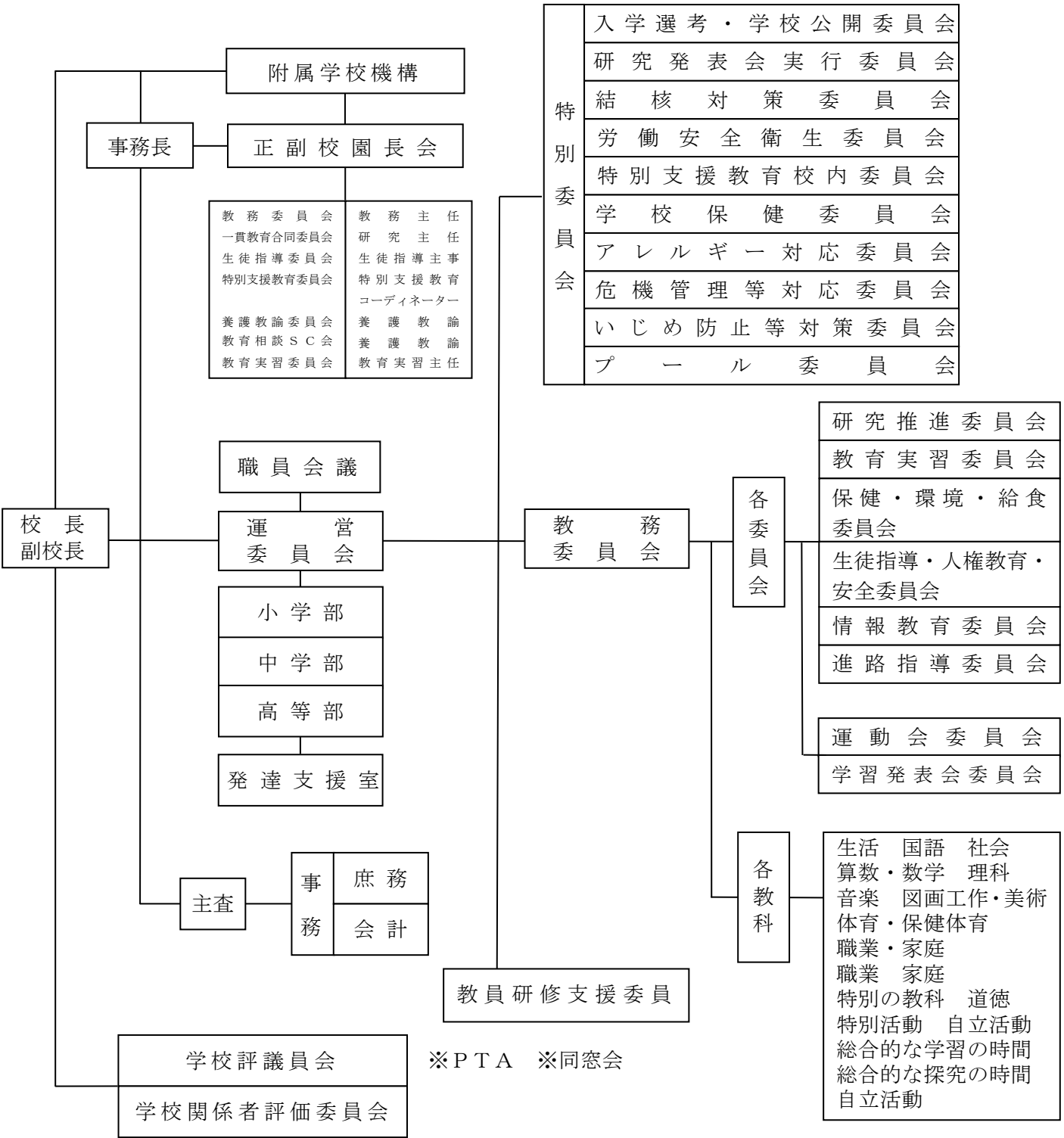


分科会の様子



全体会の様子

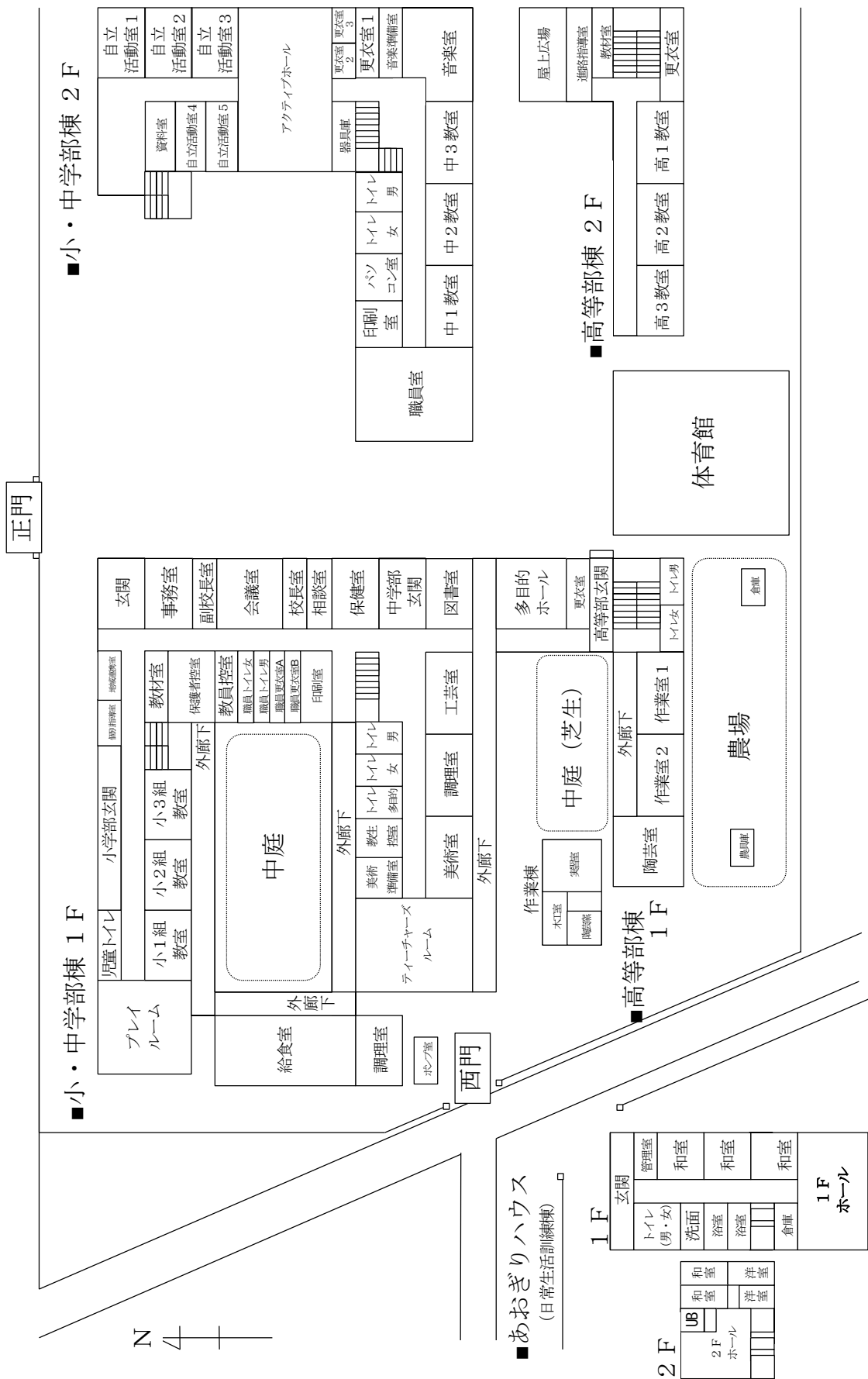
1 4 校 務 分 掌 組 織



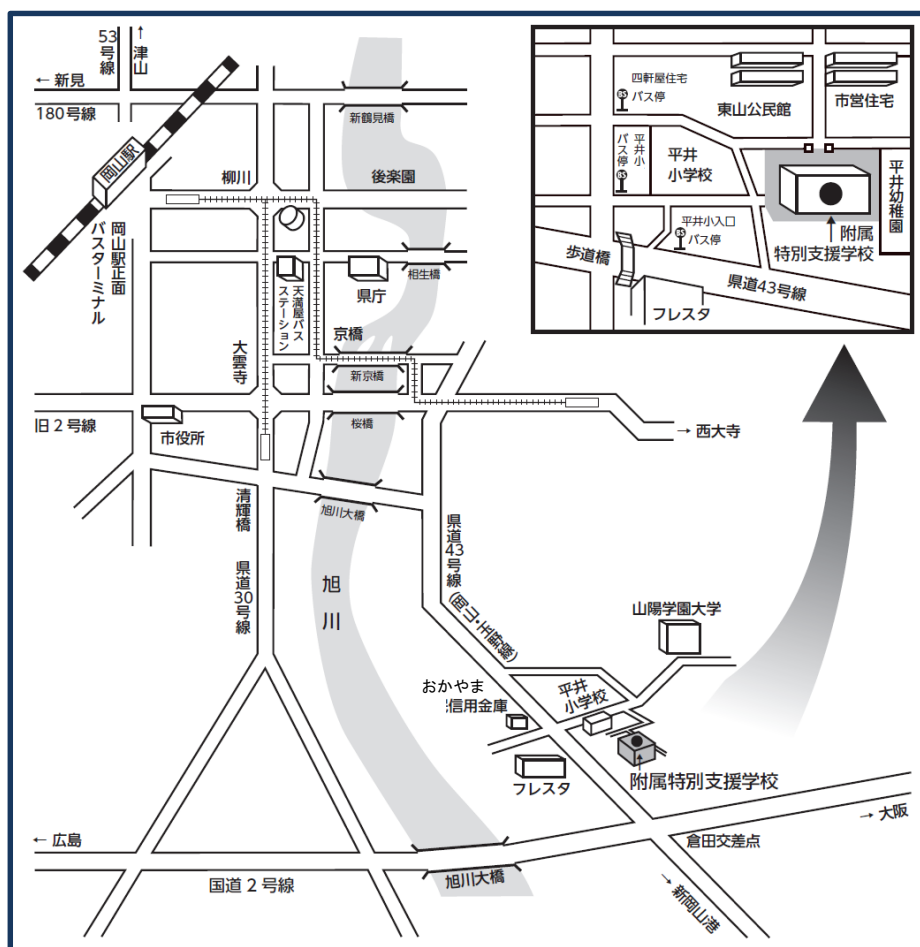
1 5 教 職 員

職名	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	非常勤講師	主査	主任	事務職員	事務補佐員	技能補佐員	臨時用務員	作業補佐員	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
数	1	1	3	24	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	4	1	1

16 教室配置図



17 学 校 案 内 図



公共交通機関のご案内

乗車バス（岡電バス）

新岡山港行
三幡南行
岡山ふれあいセンター行

のりば

岡山駅前バスステーション1番
天満屋バスステーション1番

所要時間

岡山駅より約30分
天満屋より約20分

降車場所

山陽学園経由は「四軒屋住宅」
新道経由は「平井小学校入口」

スクールバスを運行しています

（小学部の児童のみの利用）

＊コースについて＊

県庁南→北消防署前→医学部東



